

## ウッデバラ高校生受入れ 感想文

この度、我が家にスウェーデンから高校生の Samuel 君がやってきました。お互い第2外国語の英語を使ってのコミュニケーションで、時には翻訳アプリに頼ってスウェーデン語に訳しながらの交流が始まりました。彼にとっては初めての日本。日本のことは遠いアジアの国くらいしか知らないとのことでした。となれば、全てが彼にとっては初めての体験ばかり。靴を脱いで家に入るところから驚きの連続の様子でした。Samuel 君はとても社交的で好奇心豊かな高校生でしたので、いろいろな「はじめて」に挑戦をしてくれました。納豆、味噌汁、松前漬、梅干し・・・郷に入ったら郷に従えの精神で初めての日本を楽しんでくれました。生ものを食べる習慣はないようですので、「卵かけご飯」「ユッケ」などには目を丸くして驚いていました。

そして、今回の滞在で彼が一番楽しんだのはカラオケでした。スウェーデンにもカラオケは存在しているようですが、いわゆるカラオケボックスというものはなく、今回同年代の我が家の息子やその友達たちと楽しんだカラオケ時間はとても面白かったようです。今時のカラオケは、ちゃんとスウェーデンの歌やスウェーデン語にも対応しており、彼自身も沢山歌を披露してくれ、言語を越えて若者同士すぐに仲良くなり大盛り上がりのひと時を過ごしました。

あっという間に過ぎてしまった6日間でしたが、私たち家族も北欧の自然豊かな福祉が充実している国くらいにしか知らなかったスウェーデンの知識をアップデートすることができ、また Samuel 君にも日本のことを知ってもらえる機会をいただき、とても有意義な時間を過ごしました。帰国前に「また日本に来たい！」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。